

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

令和6年6月27日
#健康管理士 村山 章

戦争を止めさせることは、できないのでしょうか。「BBCNews」によりますと2024年2月25日、ウクライナのゼレンスキー大統領はロシアによる全面侵攻でこれまでに3万1千人のウクライナ兵が殺害されたと明らかにしました。一方、2024年4月18日にウクライナにおけるロシア兵の死者数が5万人を突破したことを確認した、とBBCNewsが報じていました。民間人も多数犠牲になっていると思うと胸が痛みます。

Wikipediaによりますと、侵攻前に国際連合第9代事務総長のアントニオ・グテーレスは、涙ながらにロシアに自制を求めたそうですが、わずか10分後にロシアのウラジーミル・プーチン大統領がウクライナへの全面侵攻を宣言しました。またプーチン大統領は「ロシアには大量の核兵器がある。ロシアに対して邪魔をすれば敗北し、悲惨かつ壊滅的な被害になる」と、核攻撃への突入どころか核戦争（第三次世界大戦）も辞さない姿勢を露わにすることで、世界各国を脅し、ウクライナへの軍事支援を牽制したのです。1年ほど前の「クローズアップ現代」の報道によると、核兵器の保有数は、ロシアが5,889発、アメリカが5,244発、中国が410発、北朝鮮が30発とのことでした。ロシアのGDPは日本の約半分ですので、財政的にずいぶん無理をしていると思います。プーチン大統領は先月16日には中国を訪問し、習近平国家主席と両国の結束を確認したそうです。北朝鮮にも今月の18日から訪問しましたが、ウクライナ侵攻による武器の不足を補うため、北朝鮮から兵器や弾薬を受け取っているとされ、その見返りにミサイル技術を提供するなど、この両国は急速に関係を深めています。

これら3国はいずれも、一般市民の政治批判を認めず報道の自由も制限する強権的な支配を行っています。それに対し日本では現在、自由と民主主義は守られて当たり前と思われています。感謝、感謝ですね。